

埼玉大学教職大学院説明会

2024年6月21日(金) 15:00~16:00

Zoomで参加している方へ

- ①カメラとマイクをOFFにしてご参加ください。
- ②Zoom表示名を「所属・氏名」としてご参加ください。



本説明会は録画をしています。録画をした動画は後日教職大学院HPに掲載いたします。

本日の流れ

- ① 専攻長挨拶 (小倉 専攻長)
- ② 埼玉大学教職大学院の概要 (小倉 専攻長)
- ③ 教職大学院の学修内容について (萩生田 先生)
- ④ 実地研究とは (磯田 先生)
- ⑤ 大学院入試情報について (桐谷 先生)
- ⑥ 現役院生の言葉 (教職大学院 1 年 橋本廉士さん)
(教職大学院 2 年 小林悠人さん)
- ⑦ 質疑応答



① 専攻長挨拶

教職大学院では、学卒院生と現職院生が、共に学びます

院生は、様々な大学教員の専門性を総合し、学校の協力を得て、自身の課題を探究します

修了生は、埼玉県内外の所属校や教育委員会等で活躍しています

ぜひ当大学院での学びを活かして、教員としての人生をより豊かにしてください



教職大学院進学で
教師としての人生を
より豊かなものに



奨学金全額返還免除制度

教職大学院を3月に修了し4月から正規の教員に就く方を対象に、教職大学院で2年間受給できる奨学金が全額返還免除となります。

学費や生活費を稼ぐためにアルバイトする時間と労力を大きく減らして、学業を続けられます。保護者にも新たな経済的負担をかけずに進学することが可能です。

ぜひ、この新しい制度を活用して、一人でも多くの方が高度な実践力を身に付けた教員となり、学校教育を牽引して欲しいと願います。

免除対象者の条件など詳しい制度内容は
文部科学省の公式ページにて

文部科学省 奨学金返還支援

検索



②埼玉大学教職大学院の概要

○入学定員 52名

○入学者数 R6 学卒院生 40名 現職院生 11名

R5 学卒院生 31名 現職院生 13名

→学卒入学者のうち、3人に1人が他大学出身の学生です。

○教員数 91名 うち専任教員18名(実務家教員8名)

○学費

入学料 282,000円(予定額)

授業料 267,900円[前期分(予定額)]

535,800円[年額(予定額)]

※上記費用の他、保険加入などの費用がかかります。

○取得できる学位 教職修士(専門職)



③ 教職大学院の学修内容について

埼玉大学教職大学院ではどのようなことが学べるの？

埼玉大学教職大学院ではどのようなことが研究できるの？

学卒と現職教員や他のサブプログラムとの交流、勉強の機会はあるの？



研究科カリキュラム委員会

本研究科の特色

三大強化 ポイント

協働して取り組む**共同探究力**の育成

新しい時代の変化にも対応した**高度な
教材開発力・教科指導力**の育成

実践的な**省察**の充実

1. 協働して取り組む共同探究力の育成

- 複雑化し多様化する学校現場の問題の解決のために発揮される
- 組織として教育活動に取り組む体制づくりに積極的に参画し、自らの専門性を発揮しながら協働して問題解決を図る資質・能力を育成 チーム学校の体制づくりの中核を担う教員
- 学校内外の他職種との協働（養護教諭、スクール・カウンセラーなどの心理領域の職種、スクール・ソーシャルワーカーなどの福祉領域の職種）、他校種連携（幼児教育と小学校、インクルーシブ教育など）、学校外の関連専門機関や、地域の専門職・専門的人材との連携が求められる中、それぞれとつながりながら問題を解決することができる教師
- 「現代的・地域的教育課題の共同探求（ジョイント・リサーチ）」の設置

2. 高度な教材開発力・教科指導力の育成

- 高水準の教科特有の知識・技能の習得や探究を基盤としながら、自分の授業実践の向上を可能にする教材研究・授業研究の力量を形成
- 「主体的・対話的で深い学び」「社会に開かれた教育課程」など、授業改善や新しい教科領域にまたがる教育内容の開発、カリキュラム・マネジメントを推進する協働的な教員集団の中核としてその力量を発揮できる教員
- 教科横断・分野交流の活動を取り入れた教科教育に関する共通科目の設定を特色としている。自分の専門教科だけでなく他の教科のトピックや課題に触れることで、新しい教育内容の開発につながる高度な教科教育力の育成を行う

3. 教員の実践的力量的の向上に欠かせない実践的な省察の充実

- 複雑な要素が絡む学校現場の問題状況に対し、学校教育の当事者の中核として**問題解決を図る**ことのできる教員
- 現場の閉塞状況を打破するために、問題が生じている固有の子どもや教室の中で特定の文脈や状況を適切に読み解く省察の在り方が問題解決の成否を握っている
- 「**理論と実践の往還**」の過程で、それぞれを架橋していくもの
- 「**実地研究 I・II**」の充実とその振り返りを含む「**学校と教職の課題探求（グループ・カンファレンス）**」の強化

理論と実践の融合をより可能とする方策

- 研究者教員と実務家教員、複数の教員による協働の授業
- 現職院生と学卒院生の共同学習
- グループワーク、ディスカッション、ロールプレイング等、多様な授業形態
- 附属学校園も含めた学校教育現場のより一層の活用
- この他の連携・協働のあり方の追求（学校内にとどまらず、地域、学校外の専門機関との連携も視野に入れた場合、他職種との協働も）

★共通科目 < 5領域, 16単位 >

* 印は全員必修 他はSP指定の必修科目の例

科目区分（領域）	授業科目名
教育課程の編成・実施に関する領域	教育課程の課題探求 * 子ども共育の理論と実践 教科の教育課程構成論
教科等の実践的な指導方法に関する領域	教科指導の課題探求 * 特別支援教育の課題探求 教科指導の発展・応用
生徒指導、教育相談に関する領域	生徒指導・教育相談の課題探求 * 特別支援教育コーディネータ演習 子供の発育発達と保健室における養護教諭の実践
学級経営、学校経営に関する領域	教育経営の課題探求 * 学校構想の理論と実践 現代の健康問題と学校保健の実践的課題
学校教育と教員の在り方に関する領域	学校と教職の課題探求 * 学校課題改善演習

小計（14科目） 「学校と教職の課題探求」のみ通年4単位、他は半期2単位

★共通科目の特色

- 「学校と教職の課題探求」のみ、通年開講の4単位、授業展開のなかで講義・講義と演習に加えて、実地研究での学校の経験に基づいた省察と対話を含む「グループ・カンファレンス」を取り入れて授業を構成する。テーマに沿った専門性を持つ大学教員とともに、定期的に実地研究の振り返りを行う。
- 他の4つの必修科目（*印2単位）は、ターム制を利用し2コマ連続の1/4学期、を2クラス設定
 - ・・・講義と演習を連続した時間設定で効果的に実施するため

★課題研究Ⅰ・Ⅱ

- **課題研究Ⅰ**は、学校現場での教育実践に触れることを通して、教育実践に関する課題意識を明確にし、教育実践に係わる基礎的事項の学修を進め、教職および教育実践力の高度化に資する研究を行うことを目的とする。
- **課題研究Ⅱ**は、実地研究やその他の教育実践への関与により、教育実践についての課題意識に即した探究を継続し、指導教員との協議のもと、定期的にはリフレクションを行いながら、その研究成果を**課題研究報告書**にまとめる。
- 課題研究のテーマは、院生個々の興味や専門性を生かして設定し、主・副の**複数の指導教員が指導する**体制をとる。
- 2月に開催される教育実践フォーラムで**課題研究発表会**を行う。

★選択科目

- 「現代的・地域的教育課題の共同探求（ジョイント・リサーチ）」

教育に関わる現代的かつ横断的な問題、埼玉県という地域に関わる問題に関して、多様なスタッフや院生が、課題設定から成果公表の過程を協働しグループでの研究を行う。学校を中心としたいくつかのフィールドを行き来しながら、問題を多角的に検討する内容とする。

- 「探求活動演習Ⅰ・Ⅱ」（修了要件外）

将来博士課程への進学を志望しているもの対象。

院生が強い興味関心を持つ特定の分野について、それを専門とする教員の指導を直接受けながら個人での探究活動を行う。

現職院生の履修登録例

第1,2	月	火	水	木	金	第3,4	月	火	水	木	金
1限	教科指導の課題探求(第1)	教科の教育課程構成論	教科指導の発展・応用			1限	初等社会科概説(学部)	体育・保健体育科教育の教材研究と実践B	教育方法・課程論(学部)		
2限	↓教育経営の課題探求(第2)	心理・学習評価演習				2限		道徳教育論(学部)	社会科教育の教材研究と実践A		
3限		初等国語科指導法(学部)	社会科教育の理論と実践A	(課題研究)		3限	社会科教育の教材研究と実践B	社会科教育の授業内容探求	社会科教育の理論と実践B	(課題研究)	
4限	特別活動論(学部)	教育心理学概説(学部)	教育課程の課題探求(第1)			4限	現代的・地域的教育課題の共同探求				
5限	学校と教職の課題探究		↓生徒指導・教育相談の課題探求(第2)			5限	学校と教職の課題探究				

学卒院生の履修登録例(1年)

第1,2	月	火	水	木	金	第3,4	月	火	水	木	金
1限	教科指導の 課題探求 (第1)	学校課題改 善演習	学校構想の 理論と実践			1限				実地研究 I	実地研究 I
2限	↓教育経営 の課題探求 (第2)	心理・学習 評価演習	カウンセリング 実践演習			2限	障害児心理 学の実践と 課題A	学校と児童 生徒理解の 心理学	学級づくり 論	実地研究 I	実地研究 I
3限	インクルー シブ教育演 習		課題研究			3限		課題研究	心理学的方 法の活用と 探究	実地研究 I	実地研究 I
4限		総合・道徳 開発演習	教育課程の 課題探求 (第1)			4限	現代的・地 域的教育課 題の共同探 求		学校臨床心 理学実践演 習	実地研究 I	実地研究 I
5限	学校と教職 の課題探究		↓生徒指 導・教育相 談の課題探 求(第2)			5限	学校と教職 の課題探究			実地研究 I	実地研究 I

学卒院生の履修登録例(2年)

第1,2	月	火	水	木	金	第3,4	月	火	水	木	金
1限		実地研究Ⅱ		実地研究Ⅱ		1限					
2限		実地研究Ⅱ		実地研究Ⅱ		2限					
3限		実地研究Ⅱ	(課題研究)	実地研究Ⅱ		3限					
4限		実地研究Ⅱ	TA	実地研究Ⅱ	課題研究	4限					課題研究
5限		実地研究Ⅱ		実地研究Ⅱ		5限					

④ 実地研究とは

大学で教育実習に行ったけどもう一度教育実習に行くの？

実習先はどのようなところがあるの？

実地研究ってどんなことをするの？



実地研究の目的

- 学校の教育活動全体について総合的に体験し、教育実践上の課題に対するより効果的な思考法（省察）と対応力を身につけること

期待される成果

**学校組織の一員としての実践力の向上
研究活動の深化、まとめ**

実地研究 I

科目名（時期）	実習校での実践研究活動	大学院での研究活動
実地研究 I (1年次後期)	<p>期間 週2日木・金×8週の計16日間</p> <p>ねらい 学校教育における実践を深く理解することを目標とし、実地研究校で実習を行う。</p>	<p>課題研究 I</p> <p>児童生徒の実態及び発達の理解と学校教育の全体構造とを関連づける。</p>

実地研究Ⅱ

科目名（時期）	実習校での実践研究活動	大学院での研究活動
実地研究Ⅱ (2年次前期)	期間：週2日木・金×12週、 または、週4日火・水・木・金 ×6週の計24日間 ねらい 実地研究Ⅰにおける気づきをより深める形で学校の様々な教育場面における多様な教育実践に臨床的に関わることを意図する。	課題研究Ⅱ 実践の成果をもとに、各自設定した研究テーマの深化につなげる。

「実地研究」と「教育実習」の違い

教育実習

- 教員免許状の取得を主なねらいとする実習。
- 授業の行い方、指導案の作成の仕方など授業を中心とした指導を学校の先生に依頼。

実地研究

- 既に教員免許を取得している院生。
- 実地研究校における教育活動全般について総合的に体験。学校現場で起こる様々な課題・問題について主体的に解決するための方策を研究する高度な実務実習。
- 院生は、理想とする教師像を明確にし、その教師像に近づくことができるよう、授業や教育活動に参加。
- 院生も学校を支えていく教員の一員としての意識をもって実習。

教育実習は



実地研究は



実地研究ⅠとⅡの違い

- 実地研究Ⅱでは、実地研究Ⅰやその後の研究活動をふまえ、学校教育における教育実践研究を実施できるように12（6）週にわたる24日間の実習を設定。
- 実地研究Ⅱは、課題研究Ⅱとの往還を重視し、研究テーマの深化につながる実践に努めるとともに、実地研究Ⅰにおける気づきをより深める形で学校の様々な教育場面における多様な教育実践に臨床的に関わることを意図。
- 以上の実地研究Ⅰ・Ⅱを通して、学校組織の一員として、実践力を高めることを目指す。

※課題研究のための実践活動を主たる目的としていません

⑤ 大学院入試情報について



埼玉大学マスコットキャラクター メリンちゃん

研究科アドミッション委員会

1. 入試の種類

募集人員：52名

一般選抜

現職教員等特別選抜

指定校推薦特別選抜

学部内推薦特別選抜

2. 選抜区分ごとの要件

(1) 共通の出願資格

教育職員免許法による幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭若しくは養護教諭の普通免許状（専修または1種）を有する者及び取得予定の者で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 本学大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに22歳に達する者

(2) 選抜区分ごとの出願資格

一般選抜

「2 出願資格」における「(1)各選抜区分共通の出願資格」のうち
のいずれかに該当する者。大学新卒者、社会人等。

(注) 出願資格⑦により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を受けなければならないので、10頁の「5 出願資格(1)の⑦により出願する者の資格審査について」により申請書類の提出が必要です。

現職教員等特別選抜

「2 出願資格」における「(1)各選抜区分共通の出願資格」のうちのいずれかに該当し、かつ以下の出願資格に該当する者。

初等中等教育において累計5年以上（令和7年4月1日の時点）の教職経験※1を有し、在職のまま※2教育学研究科に入学可能な者。

- ① 学校教育法第1条に規定する学校の教員
- ② 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員

※1 入学時点（令和7年4月1日現在）において、教育委員会等に勤務した期間を含め、勤務形態が常勤または常勤の職員と同様である臨時任用の職にあった期間。（1ヶ月未満の期間は1ヶ月に切り上げて算出。休職した期間は除く。5年未満の現職教員は、一般選抜で受験することになる。）

※2 在職のままとは、身分を保有しつつも職務に従事しない状態。大学院修業休業制度等により休業中（予定）の者を含む。

（注）14頁「V 大学院特例制度」の「2 短期履修制度」の記載内容を必ず確認してください。

指定校推薦特別選抜

指定校推薦特別選抜は、埼玉大学教育学部からの指定を受けている大学からの推薦を受けた者。

(注) 第2期指定校推薦特別選抜において、公立学校教員採用選考試験最終合格者は、筆記試験が免除となります。

学部内推薦特別選抜

埼玉大学教育学部に在籍する4年次生で、事前審査で、特別選抜の対象として認められた者。

《推薦対象者》

- ① 将来、教職（保育士含む）に就く強い意志のある者
- ② 教員（保育士含む）としての適性を備えている者
- ③ 本学教育学部において学業成績の優秀な者
- ④ 令和7年3月に卒業見込である者
- ⑤ 教育学研究科に合格した場合に入学を確約できる者

3. 学生募集日程

(1) 入学願書等出願期間

第1期	令和6年7月19日（金）～7月25日（木）
第2期	令和6年10月25日（金）～10月31日（木）

出願は郵送のみとし（期間内必着）、窓口では一切受け付けません。 郵送に際しては必ず簡易書留郵便とし、出願書類提出用封筒〔市販の角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）〕に書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科入学志願書類在中」と朱書してください。

《出願書類送付先》

〒338- 8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教育学部係

(2)事前審査受付期間

第1期	令和6年6月26日（水）～7月2日（火）
第2期	令和6年10月2日（水）～10月8日（火）

出願を予定している者は、出願に先立って教育学部各専修内で審査を受ける必要があります（事前審査）、事前審査で、特別選抜の対象として認められた者のみ、特別選抜での受験が許可されます。出願を予定している者は、下記「出願の手順」を参照し、受付期間内に事前審査の出願を行ってください。

《出願の手順》

- ① 出願を予定している者は、指導教員等に申し出た上で「推薦承諾書」の記入を依頼します。
- ② 事前審査書類提出用封筒〔市販の角形2号封筒（24 cm×33.2cm）〕へ書類一式を封入したうえで、封筒の表に「教育学研究科学部内推薦特別選抜事前審査書類 在中」と朱書し、事前審査受付期間内（必着）に埼玉大学教育学部係宛に簡易書留郵便で郵送してください。出願は郵送のみとし、窓口での提出は一切受け付けません。

事前審査提出書類

書類等の名称	摘 要
研究計画書	本研究科所定の用紙 パソコン等で作成しプリントアウトした文書を貼りつけても構いません。 ただし、「研究計画概要」の枠内に収まるよう留意してください。裏面を使用することはできません。
成績証明書	埼玉大学教育学部長が作成したもの（厳封不要）。
推薦承諾書	本研究科所定の用紙

- ・事前審査の結果を本学教務システムのメッセージにてお知らせします。審査の結果、特別選抜の対象として認められた者は、入学願書等出願期間内に必要書類を郵送で出願してください。事前審査受付の際に提出した書類を再提出する必要はありません。
- ・本事前審査は、審査の結果、特別選抜の対象として認められなかった者について、一般選抜への出願を制限するものではありません。

4. 試験日時等

(1) 試験日

第1期	令和6年9月14日（土）
第2期	令和6年11月30日（土）

(2) 試験場所

埼玉大学教育学部（埼玉県さいたま市桜区下大久保255）

(3)配点

pp.4-7

	筆記試験等	口述試験	合計
一般選抜	200	100	300
現職教員等特別選抜		200	200
指定校推薦特別選抜	200	100	300
指定校推薦特別選抜 第2期公立学校教員採用選考最終合格者		200	200
学部内推薦特別選抜		200	200

(4) 試験時間

一般選抜

指定校推薦特別選抜

実施単位			試験科目			
プログラム	サブプログラム	教科等	筆記試験等 (教職に関する科目、専門科目)	口述試験		
総合教育高度化プログラム	学校構想サブプログラム		10:00~12:00	13:00~		
	特別支援教育サブプログラム					
	学校保健サブプログラム					
	子ども共育サブプログラム	教育学				
幼児教育						
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育サブプログラム	国語			10:00~12:30	13:30~
		英語				
	社会系教育サブプログラム					
	自然科学系教育サブプログラム	算数・数学				
		理科				
	芸術系教育サブプログラム	音楽	10:00~12:00	13:00~		
		図画工作・美術				
	身体文化系教育サブプログラム		10:00~12:00	13:00~		
生活創造系教育サブプログラム	技術					
		家庭				

現職教員等特別選抜

学部内推薦特別選抜

指定校推薦特別選抜

実施単位			試験科目
プログラム	サブプログラム	教科等	口述試験
総合教育高度化プログラム	学校構想サブプログラム		13:00~
	特別支援教育サブプログラム		
	学校保健サブプログラム		
	子ども共育サブプログラム	教育学	
幼児教育			
教科教育高度化プログラム	言語文化系教育サブプログラム	国語	
		英語	
	社会系教育サブプログラム		
	自然科学系教育サブプログラム	算数・数学	
		理科	
	芸術系教育サブプログラム	音楽	13:30~
		図画工作・美術	13:00~
	身体文化系教育サブプログラム		
生活創造系教育サブプログラム	技術		
	家庭		

第2期のみ
公立学校教員採用選
考試験最終合格者

5. 受験科目等

1. 筆記試験のうち、「教職に関する科目」は「現代の学校と教職をめぐる諸課題についての問題関心や理解」、あるいは「教職に関する意識や教育実践・教育上の課題に対する考え方」を問います。
2. 筆記試験のうち、「専門科目」は「サブプログラムに関する専門領域、教科教育学や教科内容に関する領域の知識や理解度、技能」を問います。
3. 口述試験は、①「現代の学校と教職をめぐる諸課題についての問題関心や理解」、あるいは「教職に関する意識や教育実践・教育上の問題の課題に対する考え方」、②「サブプログラムに関する専門領域、教科教育学や教科内容に関する領域の知識や理解度、技能」を問います。
4. 実技試験は、芸術系教育サブプログラム（音楽及び図画工作・美術）の一部の科目で課します。
5. 課された試験科目のすべてを受験しなかった場合は、失格となります。

各選抜区分の受験科目等については、pp.11-13を参照ください。

6. 過去の入試問題の閲覧

過去4年間で筆記試験が実施されたサブプログラムの入学試験問題のみ閲覧することができます。郵送は取り扱っておりません。
「口述試験」についての過去問題はありません。

① 埼玉大学大学院教育学研究科ホームページでの閲覧

<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/entrance/past/>

※閲覧にはフォームでの申請が必要。

② 教育学部係窓口での閲覧

閲覧場所：教育学部係（全学講義棟1号館1階 学生センター内）

時間：平日9:00～16:30

⑥現役院生の言葉

教科教育高度化プログラム
芸術教育系サブプログラム(音楽)
1年 橋本廉士さん



自己紹介

- 学部時代は小学校コース音楽分野に在籍
- 教員採用試験はさいたま市中高音楽を受験、合格
- 教職大学院は学部内推薦特別入試で受験
- 採用猶予をいただき、教職大学院に進学



大学院進学のかっかけ

- もう少し教育について見識を深めておきたい
- 教員採用試験合格者の猶予制度がある
- (奨学金制度が新たに整備されましたね)



大学院の魅力

- 学部の授業の延長線上、さらに多くの事を学べる
- 小人数であるため話し合いが多い
- 1つの授業科目が様々な領域にまたがる、色々な角度からアプローチができる
- 現職の先生方からのお話、考えを聞ける、より広い視点を
得られる



感想など

- 自分の興味・専門についてより学びを深められる
- 色々な専門を持っている仲間からかなり多くの刺激を得ている
- 興味がありましたらぜひ！



⑥現役院生の言葉

教科教育高度化プログラム
自然科学系サブプログラム
2年 小林 悠人さん





入学したら
何をやるの？

実地研究？
課題研究？

入学して
よかったことは？



入ったら
何をやるの？

主な活動は3つ！

- 授業 (32単位以上)
- 実地研究 = 現場実習
- 課題研究 = 卒論 + α

実地研究？
課題研究？

実地研究

学校現場での**高度な実習**

= 職員会議の参加，校内研究に関わる
単元を通じた授業計画，生徒指導 etc.

学生(実習校) によって内容は様々

実地研究？

1人の教師として
学校の一員！

具体例(私の場合)

1年次 週2日 授業補助メイン 学年会参加

2年次 週4日 職員会議, 学年会, ケース会議参加
学級開き参観 行事運営
小テスト, レポート採点

他の学生

- 単元を通して授業実践
- 学校と協力して校内研究, 実践

課題研究？

時間をかけて
指導や授業を研究
力のある教師！！

課題研究

卒論から継続した学術研究
実地研究等で見つけた新たな疑問の探究

⇔ 実地研究等で実践・新たな気づき

学生(研究室) によって活動は様々

入学して
よかったことは？

現役M2に聞いた！教職大学院の魅力！

- 実践的な経験を積むことができる！
- 現職の先生たちと一緒に勉強できる！
- 教員志望の仲間との出会い！
- 知識を学びながら、学校現場で実践できる！
高校で実習できるところ！
- 職員室に席を置いてもらえた！職員室が楽しい！

最後に...

教職大学院は、

意思(やる気)があれば色々なことができる場所です。

だからこそ、何ができるのか想像できない...

是非、教授や先輩の院生に聞いてみてください！

ご清聴ありがとうございました！

⑦ 質疑応答

- Zoom参加の方はチャットにて質問内容をお送りください。
- 対面参加の方はお近くのマイクを使用して質問してください。



**本日はご参加いただき
ありがとうございました。
最後にアンケートの
ご協力をお願いします。**



埼玉大学マスコットキャラクター メリンちゃん

アンケート回答はこちら→

